

病防第69号
平成26年8月11日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、平成26年度病害虫発生予察注意報第1号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

平成26年度病害虫発生予察注意報第1号

農作物名 水稲（早植え・普通期水稲）
病害虫名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 早植え・普通期水稲栽培地域
- 2 発生時期 8月中旬以降
- 3 発生程度 多

4 注意報発表の根拠

- (1) 8月5～7日に県内54地点で払い落とし調査を行った。6月上旬以前に移植された早植え水稲20地点の10株当たり成幼虫数は、6.6頭と過去5カ年の平均(2.4頭)に比べて多く、坪枯れが多発生した昨年(7.1頭)並みであった(表1、図1)。発生ほ場率は45.0%と、過去5カ年の平均(69.3%)と比べてやや低かった(図1)。
なお、10株当たり成幼虫数が約40頭と要防除水準を大きく超えているほ場も見られた。
- (2) 6月中旬以降移植の普通期水稲34地点の10株当たり成幼虫数は、0.8頭と過去5カ年の平均(0.7頭)並みであった(表1、図2)。発生ほ場率は32.4%と過去5カ年の平均(43.1%)に比べてやや低かった(図2)。
- (3) 6月下旬移植の県予察ほ(生産環境研究所：無防除)における8月上旬の10株成幼虫数は、8.2頭と過去5カ年の平均(2.2頭)より多く、坪枯れが生じた2009年並みの発生であった(表2)。
- (4) 早植え、普通期水稲のいずれでも、中～老齢幼虫が発生の主体であったが、短翅型成虫も確認されたことから、7月3日及び7月13日の飛来個体が定着したと考えられる(図3)。
- (5) 福岡管区气象台が8月7日に発表した九州北部地方の気象予報によると、向こう1ヶ月の平均気温は平年並で、降水量は並か多い予想であり、トビイロウンカの増殖に好適な条件である。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 7月3日及び13日の飛来個体を対象とした各地域の予想される防除適期(幼虫ふ化)は、表3、図3のとおりである。
- (2) トビイロウンカは増殖率が高いため、現在は低密度のほ場でも8月下旬以降には高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。定期的に発生量を確認し、要防除

水準を超えた場合は、ただちに防除する（要防除水準：8月上旬（2頭/10株）、8月中～下旬（10頭/10株）、収穫30日前（30頭/10株）。

- (3) トビイロウンカは、水稻の株元近くに寄生している。粉剤及び液剤は、株元に付着するように散布する。
- (4) トビイロウンカは、イミダクロプリド剤やBPMC剤に対する感受性が低下している。
- (5) インディカ種由来の多収米品種（WC S、飼料用、加工用）では、主食用品種に比べると、栽培期間が長い世代数が多くなりやすく、また、トビイロウンカのピーク時密度が1.2～18.0倍と高くなりやすいので、ほ場での発生状況に注意し、防除を行う。
- (6) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

表1 8月上旬におけるトビイロウンカの10株当たり寄生成幼虫数

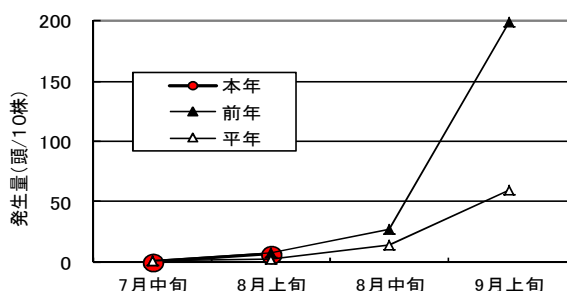
年	2008	2009	2010	2012	2013	平均	2014
早植え	0.2	0.2	1.5	3.2	7.1	2.4	6.6
普通期	0.0	0.2	1.0	0.6	1.8	0.7	0.8

注：2011年は7月までに飛来が確認されなかったため調査未実施

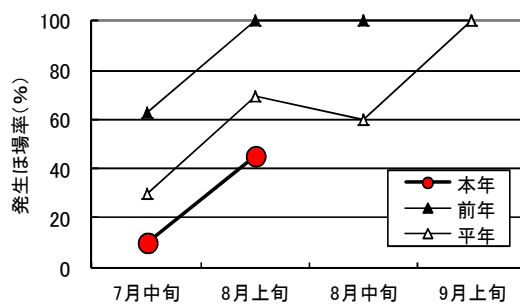
表2 8月上旬における県予察ほ（無防除田）での10株当たり寄生成幼虫数

年	2008	2009	2010	2012	2013	平均	2014
成幼虫数	0.0	8.4	2.1	0.2	0.2	2.2	8.2

注：2009年は坪枯れが発生



早植え水稻におけるトビイロウンカ発生量の推移



早植え水稻におけるトビイロウンカ発生ほ場率の推移

図1 早植え水稻での10株当たり虫数と発生ほ場率の推移

平年：2004～2013年（8月上旬は2008～2013年の平均）

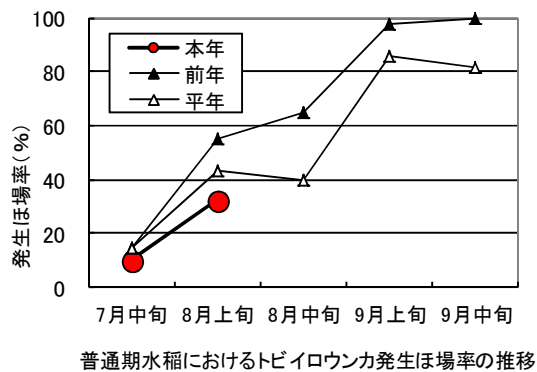
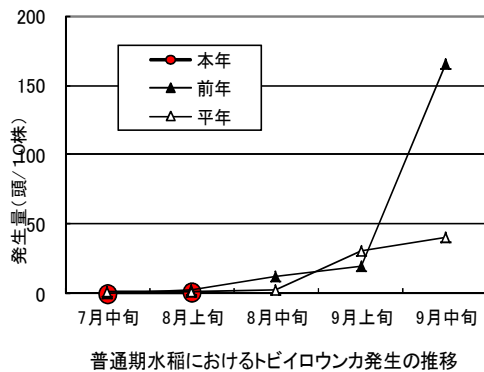


図2 普通期水稲での10株当たり虫数と発生ほ場率の推移
 平年：2004～2013年（8月上旬は2008～2013年の平均）

表3 予想される飛来波別の防除適期（8月11日現在）

時期	7月3日飛来	7月13日飛来
地点	防除適期 第2世代幼虫 ^{注)}	防除適期 第2世代幼虫 ^{注)}
熊本	8月18～24日	8月26日～9月1日
三角	8月19～25日	8月28日～9月3日
岱明	8月19～25日	8月27日～9月2日
鹿北	8月23～29日	9月1～7日
菊池	8月20～26日	8月28日～9月3日
阿蘇乙姫	8月31日～9月6日	9月9～15日
甲佐	8月21～27日	8月29日～9月4日
八代	8月19～25日	8月27日～9月2日
水俣	8月20～26日	8月28日～9月3日
人吉	8月22～28日	8月30日～9月6日
本渡	8月21～27日	8月29日～9月5日

注)・7月3日および7月13日の飛来を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温（8月10日までは今年のデータ、8月11日以降は平年値）を基に、有効積算温度で今後の发育ステージを予測した。

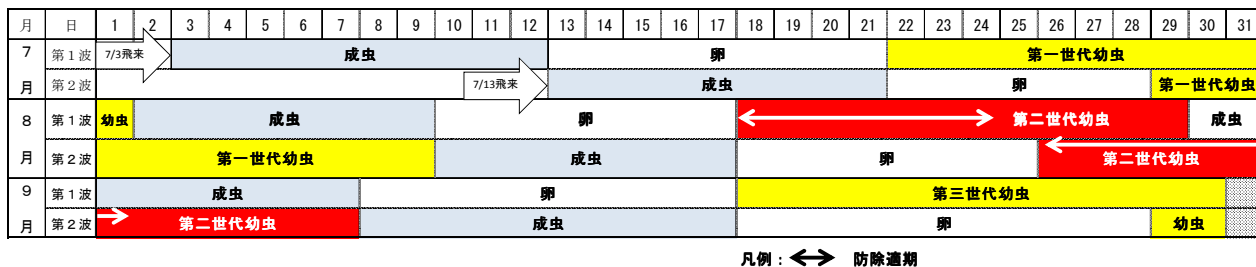


図3 トビイロウンカの発生予想パターン（熊本市）

問い合わせ先
 熊本県病害虫防除所
 （生産環境研究所）
 TEL 096-248-6490
 山口
 TEL:096-248-6490